

六組 五場面

作者は、えびフライのおいしさを表現するために、姉がしつぽを食べるところや、歯がなくてしつぽが食べられなさそうな祖母がしつぽを食べてむせてしまうところを設定した。

道家さん

作者は、今まで味わったこともないえびフライのおいしさを表すため、祖母がむせることを設定した。

久保田君

作者は、主人公や姉がえびフライをおいしいと思うことだけでなく、祖母がむせてまでえびフライのしつぽを食べる場面を作り、どれほどえびフライがおいしいかを強調するため、祖母がむせる場面を設定した。

竹中君

作者は、家族全員でえびフライのおいしさを味わっているときにわざわざ祖母をむせさせることによって、姉の面倒見の良さとしてえびフライのおいしさを強調させるために、設定した。

炭竈君

作者は、えびフライのおいしさを伝えるために、祖母がえびフライのしつぽを食べてむせてしまったという場面を設定した。

加藤さん

☆ 作者は、家族が父親しか知らないえびフライを初めて食べ、そのおいしさを最大限に伝えようとするために、歯のない祖母にしつぽを食べさせ、むせるように設定した。

織田君

作者は、えびフライがどれだけおいしいものか強調するために、あえて祖母をむせて咳き込ませるように設定した。

田中君